

日英新聞コーパス及びBCCWJ比較に基づく 二字漢語動名詞使用の分析

田 辺 和 子
中 條 清 美

キーワード：語彙統語論 二字漢語動名詞 日英新聞パラレルコーパス BCCWJ

1. はじめに

本論文では、日英新聞パラレルコーパス及びBCCWJ (the Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese: 現代日本語書き言葉均衡コーパス) の図書館・書籍サブコーパスを比較することによって、新聞における二字漢語動名詞使用の特徴を考察する。本研究は語彙論的統語論の立場から、二字漢語動名詞が、報道文においてその意味によって使用される文法形式に特徴があるのではないかという仮説のもとに分析を進めた。

二字漢語動名詞 (例：実施+する) は、二字漢語を名詞「実施」に、「する」をつけてサ変動詞 (「実施する」) としても使用する。まず、それぞれの二字漢語動名詞の名詞として使われる度合いと動詞として使われる度合いを二つのコーパスで比較する。

次に、その二字漢語動名詞が動詞として使われた場合、統語論的使用形式、すなわちテンス・アスペクト・ヴォイスにおいても、報道文と一般的な書籍とは、頻繁に使われる統語形式に差があるという仮説のもと、二つのコーパス上での二字漢語動名詞とその用法比率を明らかにする。たとえば、「逮捕」は、BCCWJよりも新聞コーパスのほうが「～した。」との共起率が高い、「強調」は、BCCWJのほうが新聞コーパスよりも、「～され」の形式の使用率が高いことが今回の調査で明らかになった。このように、本研究は、コーパス研究以前では、正しく把握しづかった、伝達目的によって異なる二字漢語動名詞の使用表現の限定化・慣習化の実態を明らかにする。

2. コーパス比較分析の方法

2.1 使用コーパス

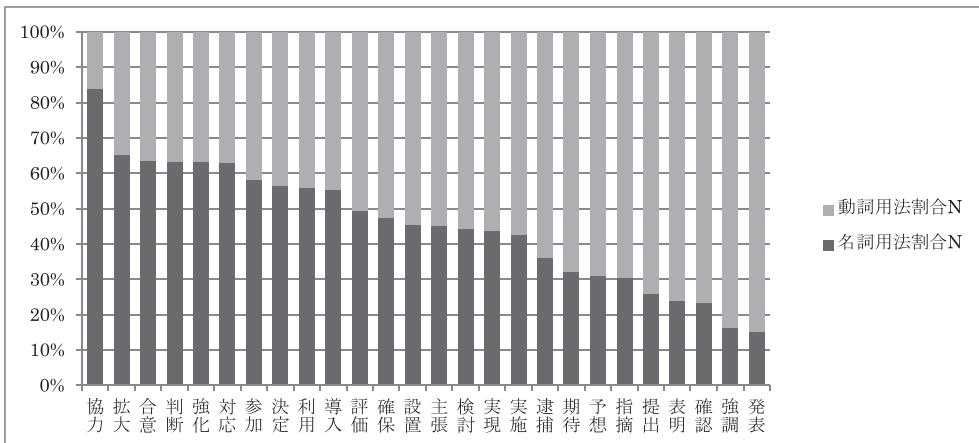
使用したコーパス二つの内の前者は、日英新聞記事対応付けデータ (内山・井佐原、2003) の日本語部分を用いた。この新聞コーパスは、1989年9月から2001年12月までの読売新聞と*The Daily Yomiuri*の記事を自動的に対応づけて作成されたものである (延べ語数 4,041,024語、異なり語数 52,282語)。後者は、国立国語研究所で開発された「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」 (104,911,464語のデータ) であるが、その中で図書館・書籍サブコーパスを利用した (30,377,866語)。

2.2 対象とする二字漢語動名詞の選出方法

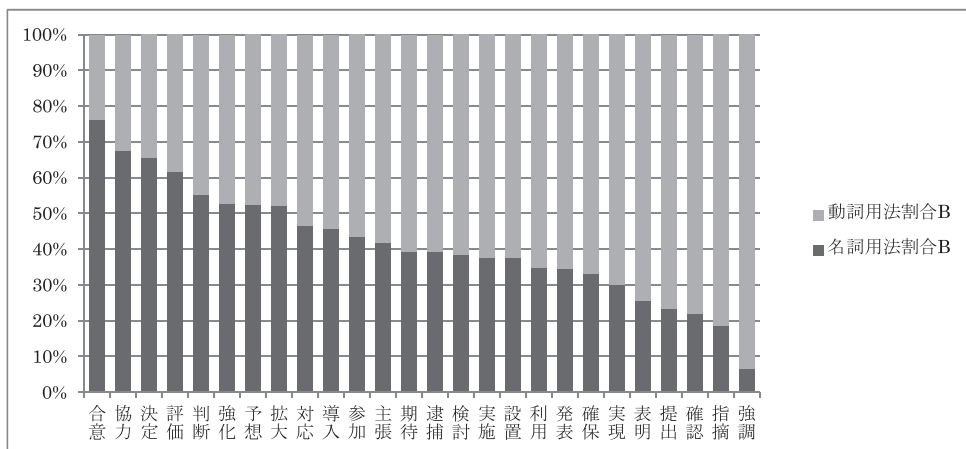
対象とした二字漢語動名詞は、「日本語新聞キーワード」（中條他4名、2010）によって選出された664語のうち、まず、日英新聞コーパスによってサ変動詞として使用が認められた263語を選び出した。次に、これらの二字漢語の用法を調べ、動詞としての用法（サ変動詞になっているものと後方に「いたす」「なさる」「できる」が続くもの）の使用例が500を超える動詞26語を今回の分析対象とした。26の動詞とは、協力・実施・検討・合意・拡大・対応・強化・設置・指摘・参加・導入・提出・表明・発表・強調・確認・実現・評価・決定・判断・期待・確保・利用・予想・主張・逮捕（「日本語新聞キーワード」での特徴度順）である。

3. 二字漢語動名詞の名詞用法比率について

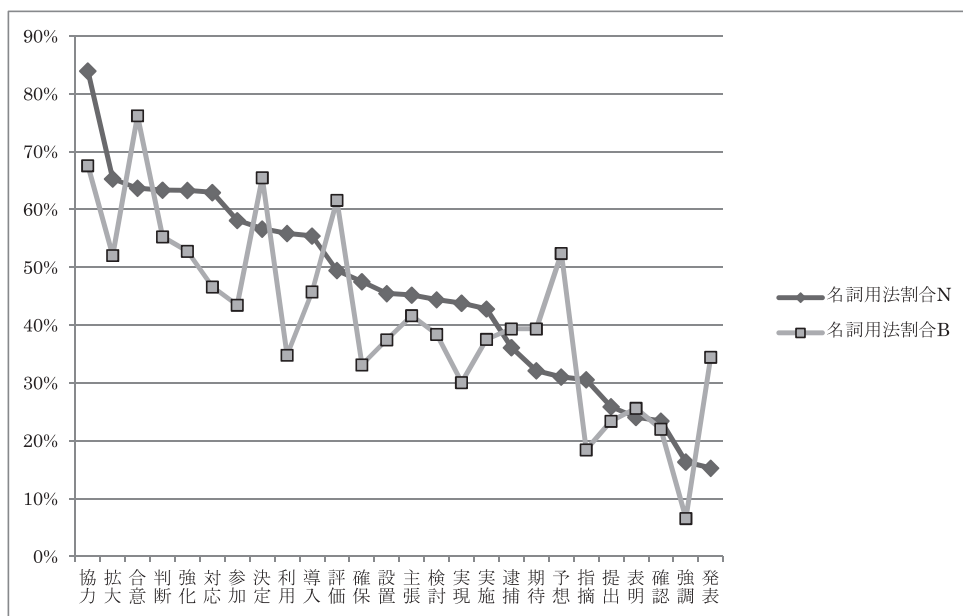
前述した動詞26について、新聞コーパスとBCCWJ各コーパスにおける名詞用法比率を調べたところ以下のような結果となった（資料1参照）。以下新聞コーパスをN、BCCWJ図書館・書籍サブコーパスをBで記す。



【図1】 新聞コーパスにおける二字漢語動名詞の名詞用法割合（名詞用法割合の高い順）



【図2】 BCCWJにおける二字漢語動名詞の名詞用法割合（名詞用法割合の高い順）



【図3】 両コーパスにおける二字漢語動名詞の名詞用法割合の比較

二つのコーパス間において名詞用法比率を比較すると以下のような差が認められた。

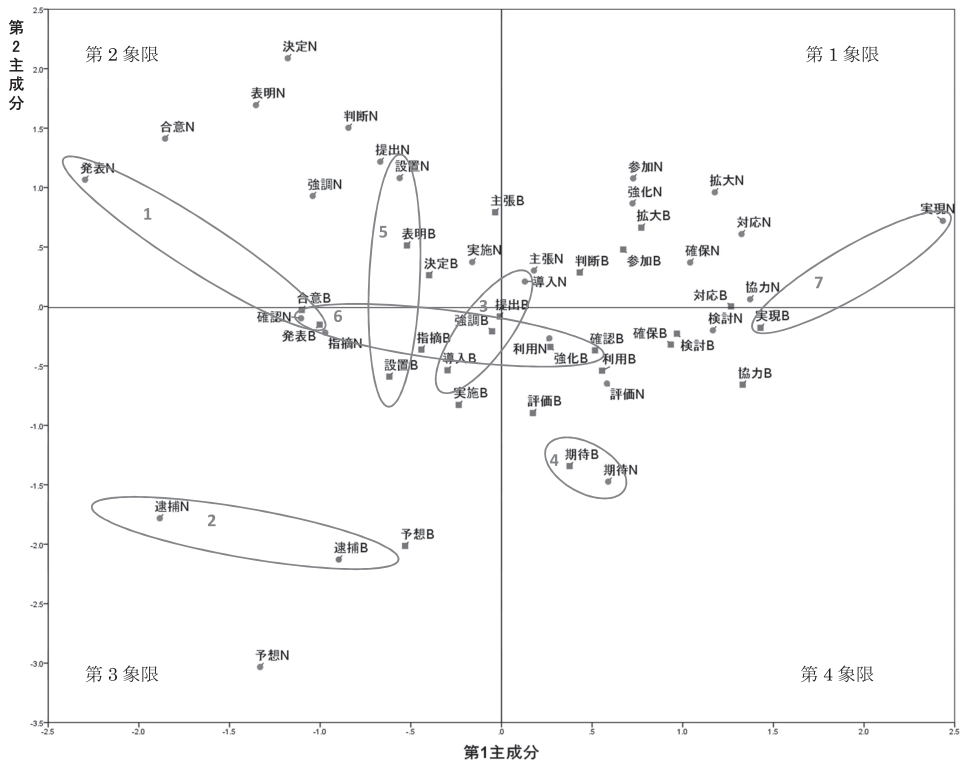
- ① 新聞コーパスのほうがBCCWJよりも名詞用法割合が高い語は、協力・拡大・判断・強化・対応・参加・利用・導入・確保・設置・主張・検討・実現・実施・指摘・提出・確認・強調の26語中18語であった。
- ② 新聞コーパスよりBCCWJの方が名詞用法割合が高い語は、合意・決定・評価・逮捕・期待・予想・表明・発表の8語であった。

以上の26動詞に限った考察からは、新聞コーパスによる報道場面のほうが名詞用法が動詞用法よりやや高い割合である傾向が窺える。しかし、どちらに使用されるかは、二字漢語動名詞の意味によって選択が異なるといえよう。

4. 二つのコーパスにおける26動詞とその文法形式の比較

4.1 サ変活用形による主成分分析

次頁の図4は、26の動詞の二つのコーパス、新聞コーパスとBCCWJにおけるサ変活用（させ*・され*・し、・した。・した（文中）・して・（その他）し*・する。・する（文中）・その他サ変）¹⁾の割合を主成分分析にかけたものである。これにより、26の動詞間の二つのコーパス上の使用の特徴を相対的に把握することができる。まず、資料2（論文末に添付）のように二つのコーパスそれぞれにおける二字漢語に続くサ変形式による割合表を作成してから、主成分分析にかけ4つの成分を抽出した。



【図4】 新聞コーパスとBCCWJ比較～動詞活用形から見た二字漢語動名詞の使用の実態

次頁の表1が成分行列表である。成分ごとに対抗要素を概観すると次のことが考察できる。成分1では、「した。」・「され*」・「した（文中）」に対して、「する（文中）」・「（その他）し*」が、成分2においては、「され*」に対して、「し」、「した。」「した（文中）」「する。」が対抗しているといえよう。成分3においては、「する。」「し、」に対して「した（文中）」「させ*」が、対抗している。また、成分4においては、「して」に対し「させ*」「され*」が対抗していることが理解できる。

【表1】 成分行列表

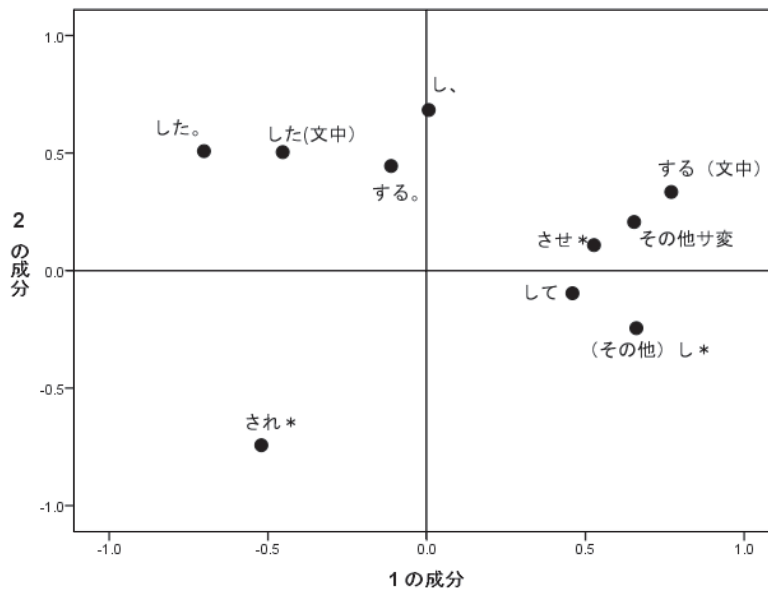
	成分			
	1	2	3	4
させ*	.527	.108	.457	-.380
され*	-.521	-.743	-.127	-.375
し、	.006	.683	-.392	-.247
した。	-.701	.508	.244	.154
した(文中)	-.454	.504	.600	.146
して	.459	-.097	.014	.761
(その他)し*	.660	-.245	.030	.313
する。	-.112	.445	-.649	.150
する(文中)	.770	.334	-.194	-.261
その他サ変	.653	.206	.290	-.241

因子抽出法: 主成分分析

4個の成分が抽出されました

図5において成分プロットを示しておく。

成分プロットを見ると先に示した成分行列の因子の相互の関係が明確に理解できる。これらの文法形式の関係の上に個々の動詞が実際的にどう使われているのか重ね合わせて考察していく。



【図5】 成分プロット

4.2 グループ分け

表1の成分行列表を参考に図4を分析すると、26の動詞は以下のように大体7つのグループに分けることができる。(●は資料3にコーパスにおける用例を収集)

第1グループ

このグループは、N(新聞コーパス)が第2象限左上に比較的高く、B(均衡コーパス)が中

心にむかって右下に位置する。

例：●発表・合意・表明

第2グループ

このグループは、N Bともに第3象限の際立って深くに認められ、Nが外側、Bが中心により近い所に位置している。

例：●逮捕・予想

第3グループ

比較的NもBも中心に位置し、NとBに置いて大きな差はない。

例：導入・利用・主張

第4グループ

N、Bともに第4象限に留まる。

例：期待・評価・検討

第5グループ

NとBの分布がそれぞれ第1象限と第4象限、第2象限と第3象限というようにNとBが縦に平行に位置する。すなわち、第2成分に差が大きく表れ、第1成分の差がほとんど見られないグループである。この場合、ほとんどNが第1及び第2象限であり、Bがそれぞれ第4象限と第3象限である。

例：●設置・強化

第6グループ

このグループは、該当する動詞数は少ないが、第5グループと対照的な特徴を示している。第2成分はほとんどNとBについて差はなく、第1成分の基準によりNとBが中心から大きく左右に離れて位置づけられている。

例：確認

第7グループ

このグループは、Nが第1象限比較的奥に位置し、Bがやや中心に向かい第4象限との境ぐらゐに位置する。

例：●実現・対応・拡大

第1から第7グループの特徴をまとめるとNが外側に位置し、Bが内側に位置するのは全体的傾向であることが考察できる。これは、新聞コーパスのほうが動詞それぞれに特徴ある使用を示していることを示唆している。最初に新聞を特徴付ける語を選出したことを裏打ちしているが、その特徴というのはさまざまで、新聞テキストの特徴を「受身形が多い」とかといった文法形式

において一般化することは難しいことが判明した。むしろ動詞各々の意味によって新聞テキスト、一般書籍テキストそれぞれにおける使われ方が異なるということが明確になった。第1から第7グループは、動詞意味論的観点から考えると、主体と動作とのかかわり方、主体と動作の対象との関係において、何らかの類似性を持っていると考えられるが、それを実証するには、対象動詞の数を増やして考察する必要があるだろう。

5. まとめ

本論文は、新聞コーパスと均衡コーパスを二字漢語動名詞の使用を調査することで比較してみた。名詞用法と動詞用法との頻度の比較でも、テンス・アスペクト・ヴォイスの文法形式における使用実態の分析でも、動詞の意味を無視した一般化は無理であることが明らかになった。新聞という報道の目的をもつ場面でも、一般的な書き言葉によるコミュニケーションの場面でも、動詞はそれぞれの意味レベルでの対応をしており、二字漢語動名詞の大半が共通した文法形式を採用わけではない。しかし、そのような中でも、新聞コーパスと均衡コーパスの比較に関して「させ*」「され*」「し、」「した。」「した(文中)」「して」及び「(その他)し*」「する。」「する(文中)」「その他サ変」の主成分分析が成立したことも事実である。おそらく、複雑な要素の組み合わせによって文法形式の選択は行われるのであろう。本論文では、動詞の内部要素分析までは踏み込めなかったが、次の課題として検討される必要があることを認識した。コーパス比較という試みにおいて、本研究では、いくつかの分析手法を考え実行した。この点においては、コーパス研究の可能性を示唆することができたと思う。

謝辞：本研究は平成25～27年度科学研究費補助金基盤研究(C)(課題番号25370496)を受けて行われました。

注

- 1) *は、後ろに語の活用形が続くものを含めることを表している。「(その他)し*」は二字漢語動名詞に「し」が続くもので、「し、」「した。」「した(文中)」「して」以外のもの。

参考文献

- Barlow, M. (2004) ParaConc: A Concordancer for Parallel Texts. <http://www.athel.com/para.html>
 _____ (2005) Collocate 1.0: Locating Collocations and Terminology. The aboveURL
 中條清美・木下謙朗・田辺和子・内山将夫・西垣知佳子(2010)「日本語新聞キーワードの選定」『日本大学生産工学部研究報告B』43: 53-67.
 小林英樹(2004)『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
 田辺和子・中條清美・船戸はるな(2012)「新聞コーパスにおける二字漢語動名詞の動詞的・名詞的ふるまいについて」『日本女子大学文学部紀要』61: 19-32.
 Kazuko Tanabe, Kiyomi Chujo & Haruna Funato (2013) 'Newspaper Corpus based Lexical Grammatical Analysis of Sino-Japanese Words', the abstract of 19th International Congress of Linguists (at Geneva University)
 内山将夫・井佐原均(2003)「日英新聞の記事および文を対応付けるための高信頼性尺度」『自然言語処理』10(4): 201-220.

資料1 新聞コーパスとBCCWJにおける二字漢語動名詞の用例数と動詞用法、名詞用法の割合

漢語	新聞			BCCWJ		
	用例数	名詞用法	動詞用法	用例数	名詞用法	動詞用法
協力	3357	83.97%	16.03%	2513	67.61%	32.39%
実施	2151	42.82%	57.18%	1837	37.56%	62.44%
検討	2247	44.41%	55.59%	1876	38.43%	61.57%
合意	1959	63.71%	36.29%	665	76.24%	23.76%
拡大	1799	65.31%	34.69%	1909	52.07%	47.93%
対応	2133	62.96%	37.04%	2524	46.63%	53.37%
強化	1562	63.32%	36.68%	983	52.80%	47.20%
設置	1130	45.49%	54.51%	1430	37.48%	62.52%
指摘	1697	30.58%	69.42%	2053	18.46%	81.54%
参加	1681	58.12%	41.88%	3143	43.49%	56.51%
導入	1425	55.44%	44.56%	1579	45.79%	54.21%
提出	1266	25.91%	74.09%	1260	23.41%	76.59%
表明	1258	24.09%	75.91%	585	25.64%	74.36%
発表	1511	15.29%	84.71%	2427	34.49%	65.51%
強調	948	16.35%	83.65%	1228	6.60%	93.40%
確認	1229	23.43%	76.57%	3027	22.04%	77.96%
実現	1435	43.83%	56.17%	2403	30.09%	69.91%
評価	1320	49.47%	50.53%	3427	61.63%	38.37%
決定	1555	56.66%	43.34%	3672	65.52%	34.48%
判断	1660	63.37%	36.63%	3555	55.30%	44.70%
期待	1643	32.14%	67.86%	2789	39.37%	60.63%
確保	972	47.53%	52.47%	1252	33.15%	66.85%
利用	1523	55.88%	44.12%	5657	34.82%	65.18%
予想	760	31.05%	68.95%	1638	52.44%	47.56%
主張	1212	45.21%	54.79%	3173	41.66%	58.34%
逮捕	811	36.13%	63.87%	1100	39.36%	60.64%

資料2 各コーパスにおけるサ変形式の出現割合

新聞	協力	実施	検討	合意	拡大	対応	強化	設置	指摘
させ*	0.19%	0.17%	0.24%	0.14%	6.46%	0.32%	0.53%	0.00%	0.00%
され*	0.00%	21.18%	11.94%	10.07%	2.91%	0.16%	10.90%	26.96%	35.85%
し、	7.46%	6.01%	2.88%	6.47%	10.18%	5.05%	11.60%	16.50%	6.26%
した。	1.15%	4.84%	1.20%	32.23%	7.43%	0.95%	1.93%	5.72%	12.35%
した(文中)	1.91%	13.93%	2.32%	28.78%	6.62%	11.36%	3.16%	9.31%	5.92%
して	37.86%	14.35%	37.58%	10.79%	18.74%	16.40%	11.07%	11.93%	18.10%
(その他)し*	11.66%	3.42%	4.01%	1.15%	7.43%	8.20%	6.50%	2.12%	2.57%
する。	4.40%	5.84%	7.29%	2.16%	3.07%	2.84%	5.45%	4.58%	8.49%
する(文中)	31.74%	27.44%	25.32%	7.05%	34.25%	48.74%	46.92%	22.06%	10.03%
その他サ変	3.63%	2.84%	7.21%	1.15%	2.91%	5.99%	1.93%	0.82%	0.43%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
BCCWJ	協力	実施	検討	合意	拡大	対応	強化	設置	指摘
させ*	1.77%	0.27%	0.96%	0.67%	4.42%	3.34%	1.30%	0.11%	0.06%
され*	0.25%	34.11%	11.66%	28.86%	8.62%	0.51%	29.07%	46.70%	25.47%
し、	4.42%	4.11%	5.52%	4.03%	11.16%	3.52%	7.81%	10.00%	4.78%
した。	1.01%	4.64%	0.00%	18.79%	4.75%	1.37%	2.60%	3.41%	7.14%
した(文中)	9.48%	9.11%	9.47%	21.48%	9.72%	9.52%	4.99%	5.91%	12.42%
して	40.46%	17.86%	27.96%	10.07%	25.41%	29.59%	10.41%	11.93%	24.91%
(その他)し*	20.61%	5.45%	13.32%	5.37%	8.73%	8.23%	9.11%	3.64%	6.02%
する。	1.39%	2.14%	3.68%	0.67%	2.54%	2.14%	3.04%	2.27%	4.66%
する(文中)	18.33%	20.54%	23.23%	7.38%	22.10%	39.11%	30.15%	14.77%	13.35%
その他サ変	2.28%	1.79%	4.21%	2.68%	2.54%	2.66%	1.52%	1.25%	1.18%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
新聞	参加	導入	提出	表明	発表	強調	確認	実現	評価
させ*	3.95%	0.00%	1.51%	0.00%	0.00%	0.00%	0.34%	7.05%	0.00%
され*	0.00%	27.94%	18.71%	2.94%	16.05%	3.91%	35.12%	1.73%	18.15%
し、	7.60%	7.46%	8.71%	8.19%	3.37%	5.55%	5.82%	4.52%	5.67%
した。	8.21%	4.13%	13.12%	33.93%	39.94%	35.18%	15.55%	4.92%	4.73%
した(文中)	10.49%	6.67%	12.15%	16.60%	24.75%	6.94%	12.86%	7.31%	6.24%
して	17.78%	8.73%	7.10%	17.02%	4.78%	23.20%	7.27%	8.38%	17.39%
(その他)し*	6.84%	4.44%	3.01%	1.58%	0.47%	5.42%	3.24%	12.63%	21.17%
する。	6.23%	6.03%	11.08%	7.04%	3.92%	8.70%	3.69%	2.53%	4.16%
する(文中)	36.78%	30.48%	23.66%	11.34%	6.66%	10.72%	15.21%	39.76%	20.79%
その他サ変	2.13%	4.13%	0.97%	1.37%	0.08%	0.38%	0.89%	11.17%	1.70%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
BCCWJ	参加	導入	提出	表明	発表	強調	確認	実現	評価
させ*	3.28%	0.00%	2.93%	0.00%	0.45%	0.17%	1.42%	8.30%	0.24%
され*	0.83%	33.49%	23.22%	11.45%	30.71%	18.67%	15.02%	12.06%	34.84%
し、	6.62%	5.21%	5.75%	7.01%	6.10%	6.02%	5.97%	3.05%	6.05%
した。	5.19%	2.60%	8.68%	17.06%	12.21%	8.55%	4.93%	3.50%	1.19%
した(文中)	17.29%	14.56%	14.85%	16.59%	18.75%	7.07%	7.63%	11.41%	4.22%
して	25.88%	12.43%	10.67%	17.76%	13.80%	23.04%	21.14%	10.51%	18.06%
(その他)し*	12.05%	7.34%	11.82%	8.64%	6.36%	8.90%	15.50%	14.66%	7.88%
する。	2.15%	1.78%	2.62%	2.57%	1.78%	4.89%	3.65%	1.43%	2.31%
する(文中)	24.75%	20.36%	17.36%	17.52%	9.03%	22.08%	23.79%	31.65%	22.99%
その他サ変	1.97%	2.25%	2.09%	1.40%	0.83%	0.61%	0.95%	3.44%	2.23%
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
新聞	決定	判断	期待	確保	利用	予想	主張	逮捕	
させ*	0.00%	0.34%	0.11%	0.44%	0.34%	0.59%	0.00%	0.19%	
され*	13.86%	5.56%	27.32%	8.28%	13.07%	85.13%	0.45%	66.54%	
し、	10.24%	9.27%	0.92%	7.63%	4.07%	0.59%	6.36%	1.55%	
した。	17.32%	25.30%	0.23%	1.74%	0.68%	0.59%	12.73%	20.89%	
した(文中)	16.57%	21.59%	2.64%	3.49%	17.32%	0.39%	7.88%	5.22%	
して	4.82%	14.00%	16.53%	7.19%	27.84%	9.00%	41.97%	1.16%	
(その他)し*	2.26%	2.87%	26.98%	8.93%	8.15%	0.78%	4.24%	0.58%	
する。	15.81%	1.52%	10.33%	2.83%	1.19%	1.37%	3.79%	0.77%	
する(文中)	17.62%	16.19%	14.24%	57.52%	25.47%	1.57%	21.21%	2.90%	
その他サ変	1.51%	3.37%	0.69%	1.96%	1.87%	0.00%	1.36%	0.19%	
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
BCCWJ	決定	判断	期待	確保	利用	予想	主張	逮捕	
させ*	0.33%	0.34%	0.53%	0.27%	0.64%	1.54%	0.11%	0.92%	
され*	23.01%	11.74%	23.89%	12.19%	14.64%	50.49%	5.07%	68.66%	
し、	6.67%	6.11%	1.96%	4.93%	3.84%	1.40%	7.55%	3.07%	
した。	9.76%	5.83%	1.51%	1.92%	1.28%	1.26%	12.78%	2.61%	
した(文中)	14.15%	14.96%	7.69%	3.97%	11.20%	8.42%	11.79%	5.68%	
して	9.76%	17.91%	34.06%	15.07%	28.80%	26.23%	21.21%	4.76%	
(その他)し*	6.42%	9.88%	11.30%	13.56%	10.46%	4.77%	7.82%	6.30%	
する。	3.90%	2.26%	1.66%	3.56%	2.04%	0.42%	6.01%	0.77%	
する(文中)	24.15%	26.56%	15.90%	42.74%	24.80%	4.91%	26.06%	5.84%	
その他サ変	1.87%	4.39%	1.51%	1.78%	2.29%	0.56%	1.60%	1.38%	
合計	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	

資料3 各コーパスにおける用例

【発表】

Nにおける「発表する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
されている。このプログラムの詳細は、今月後半にも	発表	される予定の大統領の年頭教書、及び一九九三年度
全研究車「マツダASV」=写真=を開発し、十六日	発表	した。環境改善は、女性だけでなく、男性の独身自
の話も出始めているという。電気事業連合会が16日	発表	した電力9社の10月の電力需要実績速報によると、
相和銀行は九月三日、四百億円の第三者割当増資を	発表	した。自民党の山崎政調会長は十二日、東京・有楽
みの溝が出土し、奈良国立文化財研究所が二十六日、	発表	した。「チケット購入者の地域的な分布を見て対応
「明らかにされることを願っています」とするコメントを	発表	した。約二時間の審議の末に行った全委員の無記
した「東京宣言」の行動計画。リース事業協会が八日	発表	したリース統計によると、七月のリース契約額は前年
は「大きな夢を実現することができた」との談話を	発表	した。タジク・アフガン国境へ向かう約十五万人の人々
業という日本を代表する大銀行が経営の統合計画を	発表	してから、一年が過ぎた。「みずほ」グループが来月
言できる全く新しい放送サービスとなる。米国も、先に	発表	した「東アジア戦略報告」で、二十一世紀に入っても

Bにおける「発表する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
レーノ・ブルーノが、無限の天空についてその考えを	発表	(し)、恒星を独立した太陽系だと主張したとき、ケプ
発表率は、全米のガン発症率とほとんど変わらないと	発表	(し)たのである。しかし住民団体は自分たちで戸別調
子の会議で、このガイドラインを最終報告書にまとめて	発表	(し)た。この会議では、IA CPやNSAのUCR委員
きは間違っています。IAEAがガンは増えていないと	発表	(し)た九十年には、すでに恐ろしい兆候が誰の目
朝鮮茶碗」は、『工芸』の千九百三十一年五月号に	発表	(さ)れたもので、絶筆である。「茶人の高麗茶碗と利
約が結ばれ、千九百九十五年には日豪共同宣言が	発表	(さ)れた。この間も、両国の指導者の相互訪問は
。同日、殺害された男児の父親が初めて談話を	発表	(し)た。報道への憤りが繰られていた。私たちは答
「いさちよ◎これからは、つぎつぎに作品を描きあげ、	発表	(し)ることを決めました。そのことを編集者に伝えた
戸幸一が、国内「革新」政策を行わない旨の談話を	発表	(し)たほか、陸軍も「現在伝へられている国民再編成
めるうえで、レヴィ=ストロースが千九百六十二年に	発表	(し)た『野生の思考』(Claude LEVI-STRAUSS、

【逮捕】

Nにおける「逮捕する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
らし、入札の公正を妨害したとして、入札妨害容疑で	逮捕	されている。そやさかい、きっちり納めるのは当たり前
メッド容疑者はタイ人女性殺人事件で先月二十二日、	逮捕	されていた。最後は回収を焦って無理な追加融資
戻ってきたところを目撃署員に殺人未遂の現行犯で	逮捕	された。例えば、環境に配慮しながら建築規制をさら
容接工モハマッド・サリム容疑者(30)を殺人容疑で	逮捕	した。いつ、どう改革を行うかという「工程表」の
った。警察庁の調べでは、今年上半期に殺人容疑で	逮捕	された少年(十四-十九歳)は五十三人で、前年(
決意を明確にした。オウム真理教の薬物密造事件で、	逮捕	された教団幹部の供述から、新たに幻覚剤「PCP」
次ぎそうだ。約二か月後、A被告を含む少年七人が	逮捕	され、このうち五人が家裁八王子支部で少年院送致
た山本巡査を銃刀法違反(発射)と器物損壊容疑で	逮捕	するとともに、同県警は二十六日付で懲戒免職とした
、官房長室で計六千万円を供与されていた疑いで	逮捕	された。次期首相候補と言われる朱鎔基副首相をト
緩和を各大学に通知し、来春から実施する方針だ。	逮捕	された男は、事件後家賃約二十万円のマンションに

Bにおける「逮捕する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
ま、目の届くところに置いておき、庭を捜索する朝に	逮捕	(し)たいと考えている。ローリーをこわがらせるような
資格で診察させていたので、医師法違反の共犯で	逮捕	(し)た。実害がなかったので、クリスマスの前に釈放
、うち1人に対する殺人容疑で保母の山田悦子さんを	逮捕	(し)た。甲山事件の経過千九百七十四年三月十七
そして足早に歩き出した。栗於支署長の李根述が	逮捕	(さ)れた。身を隠してから四十七日目のことだった。
ドルゴの森で、空腹でくたくたになっているところを	逮捕	(さ)れた。「おれは何もしてねえ!」と、彼は憲兵
に残して、いかにも仇討ちにみせかけたためである。	逮捕	(さ)れた後も、この仇討ち話でシラをきり通そうと、復
加わった人物パート・ブラウンの即時逮捕と死刑求刑、	逮捕	(さ)れた黒人の全員釈放を要求した。デトロイトやミネ
追放となり、高橋景保は、国禁をおかした罪人として	逮捕	(さ)れ、獄中で病死してしまいました。幕府は、病死
娘と良子は車を出した。「何をしようというの」「	逮捕	(する)」「してごらん」桜子が前に出た。掴みかか
(昭和四)年に日本全国で約一万人の共産党員が	逮捕	(さ)れたが、そのうち二百人が警察の拷問で死亡、

【設置】

Nにおける「設置する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
うてきた。自動精算機は現在、百一駅に三百三十台	設置	されており、「没収機能」はすべての機械に装備済
いるテロに備え、化学防護車などを擁する特殊部隊も	設置	された。連邦下院（定数二九五）で過半数を占めてし
月、憲法見直しのため、内閣が国会に憲法調査会を	設置	すべきであるとする中間報告をまとめている。常によ
相談のための共通マニュアルは、同省と、同省が近く	設置	する専門医師による研究班が協力して作る。このうち
すため、総裁指名の委員による新設の人事委員会を	設置	し、同委員会が推薦することとした。以上のことは、
の資産となるエリートとは違う。原子力安全委員会が	設置	した事故調査委員会の報告書などによると、この加
作り「相談箱」や白いクロスをかけた丸テーブルを	設置	するなど、温かい雰囲気にはまっている。動植物の絶滅
き続き、これらの問題を審議するための特別委員会を	設置	する方針を固めており、与野党間の大きな政治課題と
年十二月、弁護士七人で構成する内部調査委員会を	設置	し、旧経営陣の責任を刑事、民事両面から追及して
六倍という急増ぶり。また、オデッサにもショールームを	設置	するほか、八月からロシアのサンクトペテルブルクでも

Bにおける「設置する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
、それにしても、屋外に専用のローラースケート場を	設置	(する)ほどの、力の入れようだった。ぼくたちは、た
つては、しばしばお答え申し上げておる通り、法律で	設置	(さ)れておる憲法調査会の結論を待つて措置するつ
系を構築しておくことが重要となる。*5文化庁に	設置	(さ)れた「コンピュータ・プログラムに係る著作権問題に
設置される。前身は千八百八十五（明治十八）年に	設置	(さ)れた旧内務省衛生局。厚生省の役割は、大別
かれたらしいが、南北の町奉行が任命されて役宅も	設置	(さ)れたのは寛永八年（千六百三十一）からである
九十七年に一部改正され、児童家庭支援センターが	設置	(さ)れた。だがその数は九十九年度までに二十五
国都市・自由都市では、市会5役などの官僚機関が	設置	(さ)れ、これにより都市が財政高権を獲得してくる。
鳥のほとんどがこの方法で、数万羽の鶏を鶏舎内に	設置	(し)ているケージに1〜2羽ずつ仕切って入れて飼っ
てみよう。大正時代までに多くの県では工業学校を	設置	(し)ていたが、静岡県では未設置のままだった。
ことで、この連合農学研究科は一大学の枠を越えて	設置	(さ)れました。東京農工大の連合農学研究科には

【実現】

Nにおける「実現する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
国民の信頼と評価を得るためにも、合意した政策を	実現	し、実績を積み上げることが肝要である。NTT幕張ビ
化を達成する、とした昨年のポゴール宣言の構想を	実現	する「行動の段階に入った」ことをうたったことだ。へ
り増大を避け、輸出入のバランスの取れた貿易構造を	実現	するために欠かせない。同国が化学兵器を保有して
に開設する研究所に勤務する。自由で公正な選挙を	実現	するためには、まず運動する側が金のかからない選
国民の多様性を尊重し、同時に国家としての統一性を	実現	することが、真に住みよい国への道だろう。資金調
る方針を固めた。人間性の性格からしても、それが	実現	するはずは決してあるまい。第一に、米国の存在の
ことも分かった。冷戦が終結し、統一ドイツがなかば	実現	した。今回のTDIの引き下げによって、今後、ダイオキ
事は、サミット期間中にクリントン大統領との会談を	実現	し、基地問題の解決を直接要望する考えを示してい
り確実に引き継ぎ、自然との共生が可能となる社会を	実現	したい」と強調。「ヴィーナス・ファンド」はここに注目
別次元のものだ。ただ、きめ細かな生活・学習指導を	実現	するための学級規模の縮小に関しては、多くの提言が

Bにおける「実現する」のサ変活用用例

前文脈	キー	後文脈
」の禁止規定もありません。男女労働者の平等を	実現	(する)には、機会の均等ではなく、結果の平等を
その自治法案が成立していた。そこでそれは戦後	実現	(し)たのであるが、アイルランド内にはたんなる自治化
出勤しなかったとか、化学コンビナートの設計がうまく	実現	(し)なかったとか、新型輸送機開発の設計局では課
な改革は先送り、中途半端な妥協の産物的改革しか	実現	(さ)れないからだ（その証拠に、現在の小泉内閣は
子さんの遺骨を、ヒコの墓に合祀したいという念願を	実現	(し)たいと思ったからであった。馬場キミさんは「伯母
みの中で、私たち国民の理想とする“福祉社会”を	実現	(する)ことが果たして可能なのであろうか？国民が
Stage 1自分が今一番望んでいること―それが	実現	(する)のです！1「これしかない！」―強く言えば、
り方について規定した。このような教育の目的を	実現	(する)ための教育のあり方、いかにすれば教育の方法
符が共同で、もしくは個別にでも、ぜひ整えて遣使を	実現	(さ)せようではないかと提案している。この件は後日
ない。「いにしえより繰り返されているが、容易に	実現	(さ)れることなどありえない課題であろう。ならば二十

上記用例は、各該当用例をリストアップし、RAND関数で乱数を発生させ、並べ替えを行うことによりランダムな10例を抽出したものである。ここでのBCCWJでの用例収集は各二語漢語に語彙素「為る」が見つかるものを検索している。